

《不安・ストレス等(F: 適應異常化諸概念)の肥大にどう對處するか》即ち左圖の右圖化。

* 「C'・C(場)」⇒「關係(D1)と言ふ眞實を生かす:D1の至大化」が困難の場合(適應異常化・沈湎:D1の至小化)⇒「適應異常化諸概念(F: 不安・ストレス・悩み・苦痛・未解決、等)の肥大」⇒「Fに對する」Eの至小化(適切距離不獲得・固着・囚はれ)」。つまり左圖狀況が発生する。

かかる状態を解消する實踐論として、解り易く書くと以下となる。

* 肥大するF概念(不安・ストレス等)への「ベストフレイジング(Eの至大化)」を掴む事で、「適應異常化諸概念(F: 不安・ストレス等)の縮小・狭小化(即ちEの至大化)」が可能となり、「Fへの囚はれ(Eの至小化)からの解放=逆境(D1の至小化)に非沈湎」が叶へられる。「場から場への轉換」(飛躍)のスプリングボードに、獨白的ベストフレイジングが効果を果たす。

* 左圖: 逆境が招く適應異常化(D1の至小化)。即ち「適應異常化諸概念(F: 不安・ストレス・悩み・苦痛・未解決、等)」の肥大狀況。

右圖: * 肥大するF概念(不安・ストレス等)への「ベストフレイジング(Eの至大化)」を掴む事で、「適應異常化諸概念(F: 不安・ストレス等)の縮小・狭小化(即ちEの至大化)」が可能。

* 「Fへの囚はれ(Eの至小化)からの解放=逆境(D1の至小化)に非沈湎(逆境はあるが、囚はれない)」が叶へられる。

